

## 第24回議会報告会議事録（要約）

と き	令和5年11月16日（木）	19時～21時
と ころ	東条福祉センター「とどろき荘」	
テ ー マ	地域公共交通・地域の課題・議会への要望、意見 等	
参加者数	17人（男 16人 女 1人）	
出席議員15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中村 龍治      ・大久保 忠義      ・橋本 匡史      ・松本 美和子</li> <li>・大城戸 聡子      ・別府 みどり      ・廣畑 貞一      ・古跡 和夫</li> <li>・大畑 一千代      ・高瀬 俊介      ・長谷川 幹雄      ・岸本 眞知子</li> <li>・小川 忠市      ・小紫 泰良      ・藤尾 潔</li> </ul>	
総記録者	橋本 匡史	



### 【概況】

東条地域の参加人数では昨年よりも多く来ていただき、地域の課題や行政への要望を伝えたい思いの参加者があり、各グループで活発な意見交換が行え良かった。

発言種別	番号	回答（意見も含む）
<b>【議会報告】</b>		
意見	①	団体等の補助金の決算資料に明細がないのは何故か？民間ではありえない。
回答	①	決算認定においては、統括的な判断をしたもの。令和4年度の決算書報告であり、今年度の補助金については来年度に説明を求める。
意見	②	東条地域の過疎化が進み、社、滝野地域に比べまったく変わっていない。夜も真っ暗で賑わいを取り戻してほしい。
回答	②	ご意見としてお聞きしておく。
<b>【Aグループ】</b>		
意見	①	東条地域の過疎化が不安である。原因の一つに少子化があり、若者の未婚率が高く結婚しない若者が増えている。市として若者の結婚に結び付く機会を増やして欲しい。
回答	①	ご意見としてお聞きしておく。

要望 ②	とどろき荘をもっと活性化した施設にして欲しい。市民の声を十分に聴いて経営方針を考えて欲しい。利用者を増やすために看板の設置やアピールをもっとすべきでは。
回答 ②	現場ではイベントの開催など積極的に集客に努めており、スタンプカードを廃止し売上UPにも取り組まれている。
意見 ③	公共施設が少なくなり寂しい。
回答 ③	ご意見としてお聞きしておく。
質問 ④	小学校が廃校になり、施設が縮小されたのはなぜか？避難場所として利用可能か不安である。
回答 ④	小中一貫校設置の国の補助金（地方債）の関係で、学校跡地の面積の制約があり縮小するしかない。（面積の制約があるのは、社地域小中一貫校である。）
<b>【Bグループ】</b>	
質問 ①	とどろき荘の送迎バスの利用は怎么样了のか。
回答 ①	送迎業務は現在中止している。
質問 ②	黒石地区の人はバス停までどのようにしていくのか。そこまでの移動手段がないから結局困る。デマンド型交通はいつでも・どこでも乗ることができるのか。
回答 ②	デマンド型交通の実証実験が行われるので、ご活用いただきたい。
質問 ③	旧東条東小学校の利用については、怎么样了のか。
回答 ③	地域で活用されている。
意見 ④	東条学園になってから登下校の態度が悪くなった。
回答 ④	ご意見としてお聞きしておく。
<b>【Cグループ】</b>	
意見 ①	デマンド型交通などの公共交通事業を始め、各種まちづくりが旧町ごとの取組になっている。いつまで旧町にこだわるのか。「加東市は一つ」としての施策をすべき。
回答 ①	ご意見としてお聞きしておく。
意見 ②	公共交通としても、福祉施策としてもコミュニティバスは必要である。コミュニティバスとデマンド型交通をセットで実施するのが適切と思う。
回答 ②	ご意見としてお聞きしておく。
意見 ③	少子化対策とそこから派生する農業の後継者確保問題が必ず話題になる。加東市の夢ある未来をしっかりと考えて議員も活動してほしい。
回答 ③	ご意見としてお聞きしておく。

意見 ④	団体等への補助金もすべて市民の税金が使われていることを自覚し、議会としても必要性や目的、成果をしっかりと審議・検証すべき。
回答 ④	ご意見としてお聞きしておく。
意見 ⑤	とどろき荘の活性化やふるさと納税に関する取組等について、市職員からの提案も大事にしながら、費用が掛かっても専門家に委託し提案を求めることも検討すべき。
回答 ⑤	ご意見としてお聞きしておく。
<b>【Dグループ】</b>	
意見 ①	神姫バスは、利用者にとって不便な時刻表で運行しているのが現状であるので、地域のニーズに合わせた公共交通を用意してほしい。
回答 ①	自主運行バスに加え、この10月からスクールバスの活用や令和6年1月からはデマンド型交通の実証実験を開始する。
要望 ②	市の説明が「神姫バスの天神・電鉄小野駅線が廃止になるかもしれない」で終わってしまっており、その後の説明がなされていない。来春廃止決定なら速やかに地域に経過説明と報告をして頂きたい。
回答 ②	担当部局に連絡する。
意見 ③	東条西・東小学校の閉校後の利活用について、地域のニーズを十分に吸い上げていたとは言い難い。勝手に決まった。
回答 ③	利活用に関しては委員会を立ち上げ、その決定に従っている。
意見 ④	東条学園の小中一貫教育の効果の検証は？教育委員会のトップダウンのしわ寄せが教師や児童・生徒に来ていないか？
回答 ④	総務文教常任委員会で市教委に検証を求めている。
要望 ⑤	社高校野球部の甲子園出場で応援補助金が出るように、県外で活躍する加東市出身の学生に対しての何らかの補助金はないのか？また、彼らを加東市の誇りとしてPRする方法は？
回答 ⑤	個人に対しての補助金はあるが、ハードルが高い。PRに関しては、広報かとうに掲載するなどの方法があるので、秘書広報課に連絡する。
要望 ⑥	有機25%の山田錦を作っているが後継者不足に悩んでいる。若い世代に訴えかけたいので、小学生に話をしたいと考えている。JA任せではなく、加東市としての姿勢はどうか？
回答 ⑥	市も農業の後継者問題は把握しており地域計画（人・農地プラン）の作成などに当たっている。
意見 ⑦	議会報告会の参加者が少ない。参加者増となるような工夫を。
回答 ⑦	ご意見を真摯に受け留め、より多くの市民が参加できるように取り組みたい。